



黒部の「水」の恵み。

くろべ 水の少年団

指導者協議会長: 金山 盛雄先生

専務局: 押田 敬義

発表児童: 4名

名水の里づくりを目指す黒部市が、将来を担う子供達に「くろべ水の少年団」における活動を通して、貴重な資源としての水を認識させるとともに、「水と親しみ」「水を愛する」「水を大切にする」心豊かな子供を育てることを目的として、黒部市内の小学校高学年の児童を対象に団員を募集し、平成4年8月に結成された。活動は今年度で12年目となり、団員は51名である。

■ 発表テーマ ■

黒部川流域の水環境について

～清流・黒部川とともに、ぼくたち「水」の探検隊～

名水の里・黒部で、水に親しみ、水について調べ、水を守ろうと1992年に発足した「くろべ水の少年団」。51名の団員による今年1年間の活動を発表。内容は、水の観察・実験や水生生物調査、河川海岸清掃など。

押田さんより

活動を振り返って

多くの子供たちは、郷土の川や自然から学ぶ機会、体験が不足している昨今ですが、水の少年団員は毎年5～6回もの活動を通じて扇状地の水環境に親しみ、川をみる目を深めています。また動植物との共生にも強い関心をもって水環境をチェックしており、毎年黒部川の水質改善の一役を担っているのではないかと思います。また、学校週5日制への対応として、これらの自然体験で得たものは、きっと子供たちの生涯学習の芽となり、自ら学ぶ態度や心豊かな人間形成にも大きく役立つだろうと念じております。今後も国土交通省黒部河川事務所、黒部市をはじめ関係諸機関の皆様の温かいご指導とご支援を賜りながら、少年団の活動を発展・充実させていきたい。



▲今年の活動報告。

水みらいプロジェクト2003 シンポジウム



▲みんなで生物調査を実施。



▲4人の代表が大きく見えました。

水みらいプロジェクト2003 シンポジウム



▲黒部の水の恵みはすごい。



▲これからも地域を愛し続けてください。



▲本格的な調査も実施。

学習テーマの設定

名水の里くろべ。
日本でも有数の名水の里として、知られている「くろべ」その地に1992年に20名で発足した「くろべ水の少年団」毎年積極的な「水」に関する様々な活動を行っています。

くろべ水の少年団 活動紹介

～黒部川扇状地の水環境について～



水の恵みを未来へつなぐ。
きれいで豊かな水、わき水に恵まれた環境を無駄にせず、未来につないでいくため様々な活動や調査を行っています。

学習の展開

くろべ湧水群の恵み。
きれいで豊富なわき水が、地域の生活を支えています。共同洗い場は、上～下に行くにつれ、食器洗い～衣類洗濯と無駄に使わない知恵があります。地元では「しょうず」と呼ばれ親しまれていますね。



定期的な調査を実施。
毎年同じ時期に黒部川の下流・中流・上流の3ポイントで調査を実施。専門的な調査もあり、大人も顔負けの内容です。

温泉も湧く、黒部川上流。
険しい山にかこまれた、黒部川上流での調査。透き通ったつめた水の中から温泉も湧いています。きれいな水に住む生物にも良い環境でした。



調査項目	調査地点	調査日時	調査者	調査結果
水温	黒部川下流	2003年7月	少年団員	18.5℃
水温	黒部川中流	2003年7月	少年団員	17.2℃
水温	黒部川上流	2003年7月	少年団員	16.8℃
pH	黒部川下流	2003年7月	少年団員	7.2
pH	黒部川中流	2003年7月	少年団員	7.1
pH	黒部川上流	2003年7月	少年団員	7.0
透明度	黒部川下流	2003年7月	少年団員	10cm
透明度	黒部川中流	2003年7月	少年団員	12cm
透明度	黒部川上流	2003年7月	少年団員	15cm

データの数値をもっと良くしたい。
様々な調査にて得た数値をデータ化しています。これからもくろべの水を守っていくために、とても重要なことですね。

ゴミ拾いも積極的に。
黒部川や下流の海岸線でのゴミ拾い活動。少年団だけではなく、地域の方々といっしょに行っています。これからも続けていってください。



考えたこと・感じたこと

未来につなぐ
「水」の恵みを学び、
名水を守りつづけたい。



私たち少年団は、黒部川の上流から下流まで、水質・生物調査や海岸のゴミ拾いなどを積極的に行うことで、くろべの水の大切さや、くろべが世界的に恵まれた環境であることがわかりました。また、湧水群の恵みによって生まれた文化や風習にも感動しました。自分たちが大人になったときにも、くろべの水が今以上に地域の恵みと誇りとなるように、愛していきたいです。